

■ 学生募集要項(願書含む)の請求方法

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程事務局までご請求ください。



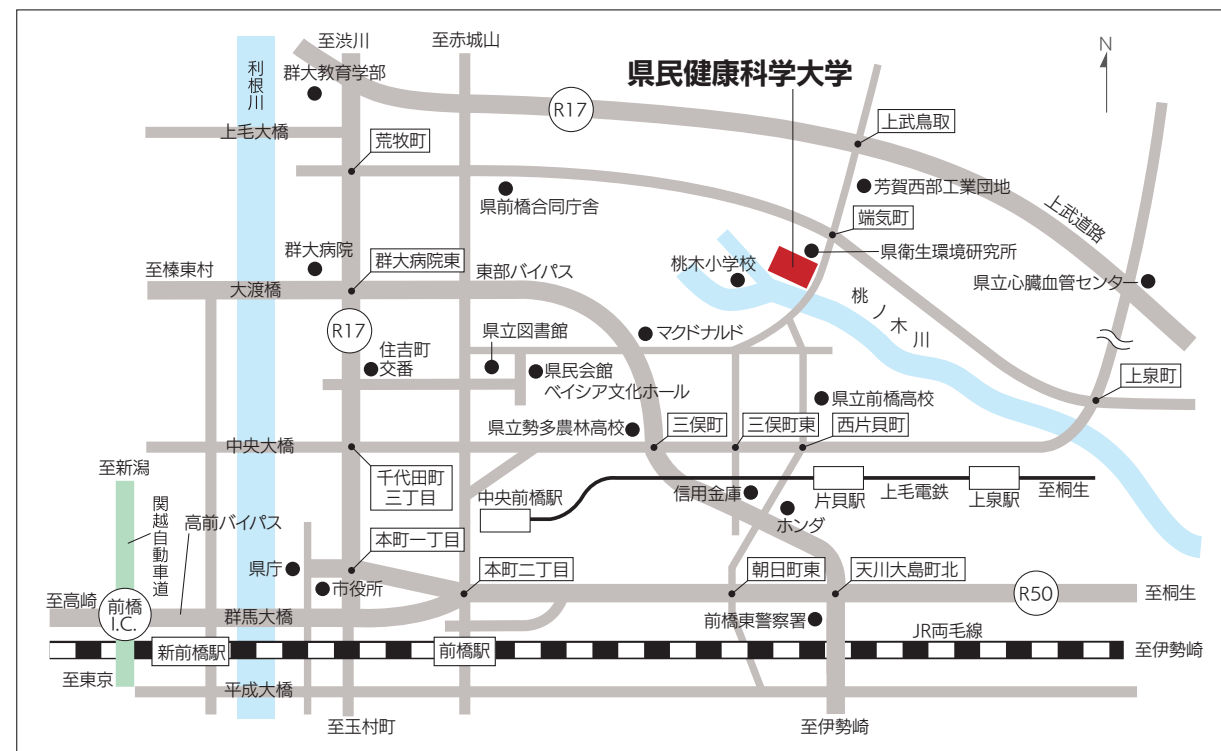
群馬県立県民健康科学大学

Gunma Prefectural College of Health Sciences

看護学教員養成課程事務局

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-9577 Fax.027-235-9578

URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: kyouinyousei@gchs.ac.jp



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋 I.C. から約20分

群馬県立県民健康科学大学

看護学教員 養成課程

Education Program for Nursing School Teachers

2020

看護学教員養成課程

科学的根拠に基づく看護学教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、看護とその教育の充実、発展、革新に向け寄与する人材の育成を目指します。



学 長 挨拶

高田 邦昭 Kuniaki Takata

人生100年時代とも言われる現代の長寿社会は、優れた保健医療人材によって支えられます。なかでも、患者さん一人ひとりに寄りそう優れた看護人材の養成は、地域にとって喫緊の課題のひとつといえます。本学では、学部教育や大学院教育を通じて看護人材養成に取り組む一方で、看護学教員養成課程を開設し、看護師養成校の教員養成を行っています。この課程は、平成24年から、社会貢献を行う本学地域連携センター事業の一環として実施しているもので、これまでの7年間で、計124名の修了生を送り出しています。修了生は地域の看護師養成機関や医療機関へと戻り、看護師養成校での教育や病院での院内教育などで活躍しています。本課程を修了することは、修了生一人ひとりにとって、やりがいのある人生への大きな一歩となることでしょう。

本学は、看護教育学が専門の杉森みどり初代学長のころから、日本の看護教育をリードしてきました。こうした伝統のうえにたち、本課程は日本の中でも特色ある教育プログラムとなっています。カリキュラムは、理論から実践まで講義、演習、実習が緻密に配置されていて、本課程で1年近く研鑽することで、教員・教育者としての実力とともに、大きな自信をつけることができます。課程の修了が近づいたところに行われる公開授業では、自信をもって教育している姿を毎年見ることができ、皆が修了にむけてたくましく育っていることを実感しています。本課程を修了すると、厚生労働省による専任教員養成講習会修了者として認定され、看護師養成校での活躍の道が大きく開けます。また、本課程は、本学の大学院博士前期課程のキャリア開発コースともスムーズな連携がはかられていて、本課程修了後さらに修士の学位へとステップアップを目指すこともできます。このような本課程は、平成30年度に本学が受審した、公益財団法人大学基準協会による大学認証評価においても、きわめて高い評価を受けています。

前橋市にある本学では、学部学生、大学院学生、教職員とともに、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができます。看護人材養成への高い志をもつ皆さん、私たち群馬県立県民健康科学大学で一緒に学んでみませんか。

特色

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程は、2012年に大学の地域連携センター事業として開設され、8年が経過しました。本課程は、大学の教育理念に基づき独自の統合カリキュラムを編成し、教育を展開しています。本課程の最大の特徴は、**大学看護学部の看護基礎教育と連動**している点にあります。看護学部がバックアップ体制を整え、大学の学習環境を最大限に活用して、実際の看護基礎教育の現実を身近に感じられる**ダイナミックな授業**を展開しています。これにより、本課程生は、学習した知識と教育実践とのつながりをもちながら、1年間学習することを通して、**看護基礎教育・看護継続教育の実践に必要な能力**を着実に修得しています。この能力は、**看護学教員を目指す看護職者**だけでなく、病院の実習指導者や院内教育担当者など、**学生や後輩看護師教育に携わる看護職者**にとって教育実践上の基盤になります。

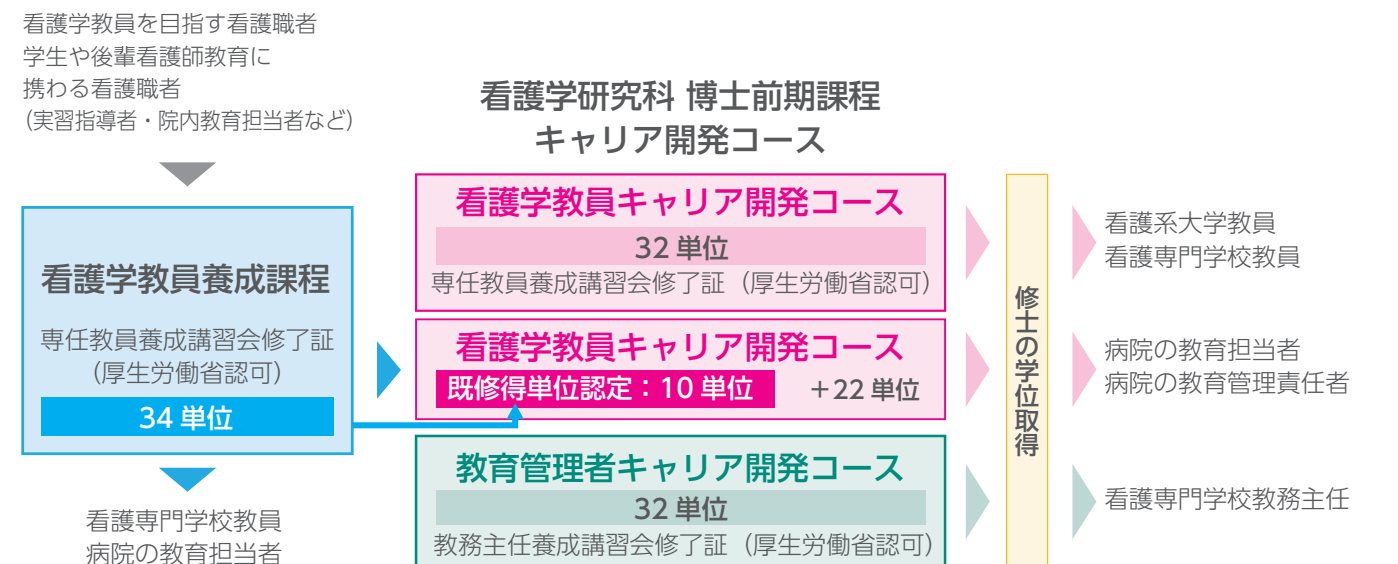
看護学教員養成課程のあゆみ

2012年 4月 群馬県立県民健康科学大学地域連携センターに開設される

2018年 4月 大学院看護学研究科博士前期課程「キャリア開発コース」開設に伴い、大学院への進学の手がけが開かれる（10単位を既修得単位として認定）

- 本課程は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受けています。
- 本課程は、厚生労働省教育訓練給付金（一般教育訓練）講座の指定を受けています。
- 「キャリア開発コース」
大学や専門学校など看護基礎教育機関の看護学教員として必要な教育実践力、または、教育管理責任者として必要な組織運営力を担える人材の養成を目指すコースです。
- 2019年 公益財団法人大学基準協会による**大学認証評価**において、**極めて高い評価**を受けました。

看護学教員養成課程と看護学研究科博士前期課程（キャリア開発コース）のつながり



キャリア開発コース
5年以上の実務経験のある看護職者のキャリア・ディベロップメントに向け、看護職者個々人が担う教育活動あるいは教育組織の運営に必要な能力の修得を目指します。
研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが修了要件です。

授業科目と担当教員

分野	科 目 名	単位数	時間数	担当教員	4月	5月	6月	7月		10月	11月	12月	1月	2月
基礎分野	倫理と教育	2	30	横山京子 金谷悦子										
	情報と教育	2	30	狩野太郎 非常勤講師										
	教育の原理	1	15	非常勤講師										
	青年期の発達と学習	1	30	垣上正裕 非常勤講師										
	教育環境	1	15	非常勤講師										
専門分野	看護の本質と専門性Ⅰ (概論)	1	30	山下暢子 高橋裕子										
	看護の本質と専門性Ⅱ (概念規定)	1	30	高橋裕子										
	教員と学生の理解	1	15	山下暢子 河内直美										
	看護学教育制度論	1	15	山下暢子 服部美香 河内直美										
	看護学教育組織運営論	1	15	巴山玉蓮 非常勤講師										
	看護学教育課程論Ⅰ (カリキュラム編成の基礎)	1	30	山下暢子 高橋裕子										
	看護学教育課程論Ⅱ (カリキュラム構造の理解)	1	15	高橋裕子										
	看護学教育課程論Ⅲ (カリキュラム編成の実際)	5	135	高橋裕子										
	看護学教育授業展開論Ⅰ (看護教育方法)	1	30	松田安弘 高橋裕子										
	看護学教育授業展開論Ⅱ (講義)	4	135	松田安弘 高橋裕子						教育 実習				
	看護学教育授業展開論Ⅲ (演習)	3	90	松田安弘 高橋裕子										
	看護学教育授業展開論Ⅳ (実習)	3	105	松田安弘 高橋裕子						教育 実習				
	看護学教育評価論	2	60	服部美香 非常勤講師										
	看護学教育研究Ⅰ (研究の基礎知識)	1	30	上山真美 大澤真奈美 飯田苗恵										
	看護学教育研究Ⅱ (研究成果の活用)	1	30	横山京子 高橋裕子										

夏季休業

【主な授業担当教員】

教 授：松田安弘、山下暢子、横山京子、狩野太郎、大澤真奈美、巴山玉蓮、
准教授：服部美香、飯田苗恵、上山真美
講 師：高橋裕子、河内直美、金谷悦子、垣上正裕、

【教育担当者】高橋裕子

本課程では、大学看護学部教員を中心に授業を提供しています。また、専任の教育担当者が1年間の学習過程をサポートしています。※看護学教育授業展開論Ⅱ・Ⅳでは、授業担当教員の指導により、大学、専門学校で教育実習を行います。

授業の様子

看護学教育授業展開論Ⅰ グループワーク



看護学教育授業展開論Ⅱ・講義 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）では、講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業を参加観察します。その後、看護学の講義の特徴、授業設計とその展開について学習します。また、看護学教育課程論とこの科目の学習成果を基に、実際に講義の授業設計・模擬授業を行います。

看護学教育授業展開論Ⅲ・演習 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）の講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業をその演習の前提となる講義も含めて参加観察します。その後、看護学演習における「教授＝学習活動」の特徴、学生の主体的学習を促すための授業設計について学習します。また、この学習成果と教育実習での経験を基に、実際に技術演習の授業設計・模擬授業を行います。

2020年度 入学者選抜の概要

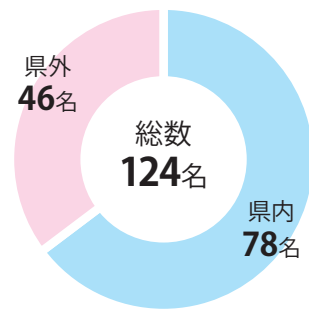
募集人員	20名
修業年限	1年間(12ヶ月)
選抜方法	「面接」「小論文」書類審査
試験会場	群馬県立県民健康科学大学
第1次出願期間	2019.10.15～11.15
第1次入学試験日	2019.12.19
合格発表日	2019.12.25

第2次出願期間	2020.1.15～2.7
第2次入学試験日	2020.2.20
合格発表日	2020.2.27
授業料	200,000円(県内) 250,000円(県外)

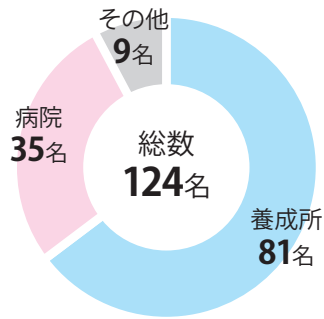
※詳細については、本学ホームページをご確認ください。
※2次募集は、左記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人数に達しなかった場合に行います。

修了生の状況

修了生数



入学時就業先



県外

埼玉県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県
福島県、山形県、岩手県、宮城県、青森県、愛知県

今年度の主な年間スケジュール

入学式	4月4日
授業開始	4月8日
公開授業	7月下旬
夏期休業	8月9日～9月30日
教育実習	10月15日～11月29日
冬期休業	12月25日～1月3日
公開授業	2月下旬
修了式	3月23日

修了生の声

私は、本課程での統合カリキュラムに基づき学習し、各科目が教育理念に基づく教育目標の達成に向かうという統合カリキュラムの緻密さに感銘を受けました。特に授業設計と展開に必要な知識・技術を学ぶ「看護学教育授業展開論」とカリキュラム編成の実際を学ぶ「看護学教育課程論」は連動していました。仮想の学校の一つの科目のシラバスを作成し、その中の一コマの授業を設計し、実際に展開する授業は、学習の順序性や科目間の繋がりが明確で、一貫性があり、それぞれの学習成果を統合させて理解を深めていくということが実感できました。このことから、教員個人の教授活動であっても、すべてがカリキュラムに繋がっていること、カリキュラムは学生を中心に置き、学習成果を確実にもたらすものでなければならないということが理解できました。現在、私は、自校のカリキュラム改正に携わっています。修了後一年が過ぎましたが、本課程での学びは、看護教員として勤務する上での心の拠りどころとなっています。今でも共に学んだかけがえのない仲間と支え合いながら、自己研鑽を続けています。

(6期生：東群馬看護専門学校 井原美紀さん)

看護学教員養成課程に入学する前の2年間、私は教員として何をしてよいのかよくわからず、臨床の看護師の時にはなかった不安や仕事に不消化感を感じていました。入学して最初の頃、授業の中で「教員って何をする人ですか？」と問いかけても、それに答えることができませんでした。しかし、この疑問を解決したい、教員の役割を理解して学生と向き合いたいと心から思い、その後の学習に取り組みました。本課程での1年間の学習を通し、授業をどう設計し、展開すればよいのかがわかり、現在は自信を持って授業をしています。さらに「看護」について、「言葉を正確に使うこと」について、「教員」や「学生」について、講義、演習、実習を通して理解が深まりました。臨床の看護師から看護学教員へ、役割を移行することへの価値を見いだせた貴重な時だったと感じています。

(5期生：館林高等看護学院 佐藤秀行さん)

VOICE

在学生の声

人生初めての他県での生活ですが、すぐに不安はなくなり、学ぶことの楽しさを感じ、充実した日々を過ごしています。授業は、アクティブラーニングが沢山取り入れられ、仲間と共に意見を交わし、学びを共有しています。

(水野月菜さん)

私は看護を“伝える力”を身につけたくて入学しました。動機はシンプルですが、道のりはそう簡単ではないと気づきました。この教員養成課程のカリキュラムは、系統立っていて、学ぶ環境も整っています。

(昆歩美さん)



私は臨床経験5年で看護学校の教員になることを決めました。始めは授業の内容について行けるか心配でしたが、自分のものの見方や考え方が変化していることを実感しています。修了後、学生に「教えてもらいたい」と思ってもらえるような教員になれることが目標です。

(内田紀恵さん)

私は臨床現場で働く看護師として人材育成に携わる中で、自分自身に教育の知識・技術が不足していることに気づき、学びの必要性を感じ、入学を決めました。同じ志を持つ仲間と看護や教育について学ぶことは、大変なこともありますが、楽しいと感じる毎日です。

(岡田有里子さん)

